



史跡新庄藩主戸沢家墓所5号棟保存修理工事

保修
工事

工事場所／山形県新庄市
工 期／令和2年8月3日～令和2年11月30日
元 請／升川建設 株式会社

新庄藩主戸沢家墓所は、江戸時代最上地方一円を治めた戸沢家歴代の墓所です。
5号棟の建立は1788年とされ七代戸田正良公を祀っております。今年度は茅葺屋根の全面葺替え工事を施工しました。国指定史跡に携われたことに深く感謝し、今後も末永く保存していただきたいと思います。
(丸山)



完成工事紹介

令和2年度 封人の家屋根改修工事差し茅工事

施工前



改修
工事

工事場所／山形県最上郡最上町
工 期／令和2年8月17日～令和2年10月31日
元 請／株式会社 大場組

今年度の工事は昨年に続き、北面(裏側)約半分の差し茅工事です。封人の家とは国境を守る役人の家のことで、この名称は俳人松尾芭蕉の「おくのほそ道」に由来します。松尾芭蕉(46歳)と付人の曾良(41歳)が約330年前に宿泊した座敷の屋根部分の工事です。茅職人と当時を思い浮かべ、風や雪にたえるよう頑丈、丁寧な縄の結束に気を配り施工いたしました。
(丸山)

施工後



西藏王放牧場の 大山桜

標高600mの西藏王高原にある野生の巨樹。野生種の桜で平安時代から自生していると言われ、樹齢100年ほどの大木もあるという。桜の見頃は例年4月下旬～5月上旬。



編集後記

昨年のことではありますが、「伝統建築工匠の技」がユネスコの世界遺産「無形文化遺産」に登録されました。宮大工や左官など、工匠が継承してきた17分野の伝統技術が世界的に認められましたことを大変喜ばしく思います。



株式
会社 **たくみ**

■本社／〒990-0024 山形県山形市あざひ町25-17
TEL.023-633-1551 FAX.023-641-6247
✉ info@takumi-pro.co.jp

■仙台営業所／〒982-0011 宮城県仙台市太白区長町6-16-7
TEL.022-308-4881 FAX.022-308-4882
✉ sendai@takumi-pro.co.jp

<http://takumi-pro.co.jp>

Facebookもチェック <https://www.facebook.com/TAKUMI.co.jp>

令和3年度もたくみは「金剛不壊」の精神で 日々精進してまいります。

進捗現場紹介

少年自然の家耐震改修工事／国指定名勝齋藤氏庭園保存整備事業令和2年度保存修理工事
山形市立第十小学校トイレ改修建築工事

完成工事紹介

史跡新庄藩主戸沢家墓所5号棟保存修理工事／令和2年度 封人の家屋根改修工事差し茅工事



体育館棟アスベスト除去用足場



体育館棟解体用内部足場

01 少年自然の家 耐震改修工事

改修
工事

工事場所／山形県山形市

工 期／令和2年7月22日～令和3年5月31日

山形市少年自然の家は、主に小学生が自然を学ぶ研修施設で、毎日多くの子供達が来訪しています。工事期間中も、子供達の明るい挨拶や笑顔に接し、この施設で学習することをとても楽しみにしている事が窺えます。本工事では、そんな子供達が元気に安心してこの施設を利用できる様、耐震性を高める為の改修工事を進めております。工事関係者様には、工事途中に既存外壁塗膜材の中にアスベストが含有している事がみつきり、工期が大幅にずれ込んだにも拘らず、子供達の安全を第一に工事を進めて下さり、大変感謝申し上げます。今後も気を引き締めて取り組んでまいります。

(建築部 阿部)



管理棟鉄骨耐震ブレース建入れ

進捗現場紹介



2期工事 工事外観



2期工事 床不陸調整

03 山形市立第十小学校 トイレ改修建築工事

改修
工事

工事場所／山形県山形市

工 期／令和2年9月18日～令和3年3月16日

山形市立第十小学校は1964年に設立した公立小学校です。本工事は一期工事と二期工事に分かれており、北校舎の一期工事は昨年の12月に完了いたしました。小学校での工事ということで平日にできる作業が限られており、常に小学生がいる状況ですので、音や粉塵などが出る時は養生や換気などの対策を行いました。特に作業者の出入りや、材料の搬出入時の際は細心の注意を払いながら作業いたしました。これから長く大切に使用いただけますよう、安全に工事してまいります。

(建築部 金子)



1期工事完成



木小屋 完成写真



後土蔵 海鼠壁目地漆喰塗り

02 国指定名勝齋藤氏庭園保存整備事業 令和2年度保存修理工事

改修
工事

工事場所／宮城県石巻市

工 期／令和2年6月5日～令和3年3月31日

今年度は前土蔵・後土蔵・中門・木小屋・広間の5棟を工事しています。前土蔵と後土蔵は最終仕上げ漆喰上塗りの工程をひとつひとつ丁寧に作業しています。木小屋と中門は震災による外部漆喰壁の亀裂補修と一部塗り直しを行いました。広間は、震災の影響により、床下に地下水が溜まりやすくなり、床組が腐朽していましたので、建物廻りに暗渠を設置し、床組を復旧しました。今年度で長きに渡る震災復旧工事も最後となります。完成まで安全第一で作業を進めてまいります。

(建築部 荒)



㈲高橋工務店
高橋 幸男

震災により崩落した土蔵、家屋の調査解体から始まり、長らく復旧工事を進めてきましたが、ようやく形になるさまを見ると感慨深いものがあります。残り僅かとなりますが、最後まで頑張ります。



広間 暗渠設置



広間 床組復旧



中門 完成写真